

「ワークセンター一条」における新型コロナウイルス感染者発生への対応について（続報）

7月27日に、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所 ワークセンター一条において、職員1名に新型コロナウイルス感染が確認された件について、本日までの対応状況を報告いたします。

- ・ 27日に当該職員陽性との報告を受け、管理職がワークセンター一条全利用者のご家庭に電話連絡を行い、どうしても連絡が取れなかったご家庭を除いて、できる限り当日のうちに状況報告を行いました。
- ・ 函館市保健所の指示を受け、28日以降も通常通りに事業所運営をすること、ただし利用については各家庭の判断に任せ、食事のキャンセル料などは徴収しないことといたしました。
- ・ 事業所警戒レベルを最大の「3」に設定し、実習生や見学者などの来訪者の制限や、内容によってはレクリエーションの自粛。また、授産作業の取引業者等にもできるだけ情報を開示しました。
- ・ 事業所内の消毒や換気、日中の利用者・職員の検温や体調観察、手指消毒などの基本的な感染予防はこれまでも行ってきましたが、さらに強化して行い、28日以降の活動に関しては、よりリスクの少ない少人数の活動などに切り替えました。
- ・ 出勤前の職員とそのご家族の体調管理、観察を再度徹底しました。PCR検査に関しては、函館市保健所の判断では事業所内に濃厚接触者はおらず、検査対象とはならなかったため、当法人から医療機関へ独自に依頼し、当該職員の最終勤務日となった24日（22日、23日は祝日閉所日で勤務は無し）に勤務していた支援員と調理員、栄養士25名の検査を28日に実施しました。本日30日に全職員が陰性との検査結果を受けております。

事業所としましては、今後も警戒レベルは「3」を維持し、動向を見ながら慎重に対応していきたいと考えています。

今回の感染発覚の際には、当該職員が同居家族の健康状態にも留意し、確実に事業所へ報告し勤務を控えたことで、感染の拡大を未然に防ぐことができました。職員一同、当該職員の回復を願っております。

前回の報告でも述べさせていただいた通り、誰もが感染者、濃厚接触者となる可能性を等しく持っております。当法人としましては、引き続き、感染者・濃厚接触者となった方やそのご家族の安全を支えるために、できる限りの努力をさせて頂く所存です。

改めて、感染者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報を探る行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人函館一条では、利用者の皆さまとそのご家族、地域の皆さまの健康、安全を最優先に考え、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。

利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条
理事長 尾形 永造

ワークセンター一条
管理者 木田 祥平